

日本頭痛学会 / ファイザー 公募型医学教育プロジェクト助成 片頭痛領域における医療の 質を向上するための取り組み

外部有識者審査プロセス



本公募の概略

本公募は、日本頭痛学会ならびにファイザーによる片頭痛領域を対象とした助成事業です。

片頭痛の早期診断と適切な治療に向けた行動変容を促進することで、片頭痛領域における医療の質を向上する取り組みを目指す教育プロジェクトを支援します。



対象国

日本



対象疾患 / 目的

本公募の対象疾患は片頭痛であり、医療の質の向上を目的とした、以下のようなプロジェクトが助成の対象となります。

- 医療機関での治療を要する未受診患者の行動変容
- 専門医と非専門医の医療連携の促進
- 早期診断と適切な治療の推進(専門的知識の普及)
- 小児・思春期の患者に対する疾患理解の促進
- 学校医、産業医、保健師、薬剤師の包括的な知識向上や疾患啓発



締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2024年7月9日
- 一次審査結果通知: 2024年7月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2024年12月

助成額 / プロジェクト実行期間

- プロジェクト1件あたりの上限額: 1,200,000円
- プロジェクト実行期間: 2024年12月1日~2025年11月30日(最長1年間)



I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

- 法人格を有した以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会等
 - 医療系の財団法人・NPO 法人等(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。
- 応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2024年5月8日

公募対象疾患:

- 片頭痛(小児片頭痛を含む)

本公募の目的:

本公募は、片頭痛患者が適切なタイミングで診断と治療を受けられる、あるいは片頭痛に関する情報を適宜得るために、医療従事者もしくは関係者の医学的・科学的な専門知識を向上させ、診断と治療の適正化に向けた行動変容を促進させるための教育活動の支援を目的としています。

片頭痛領域においては現在、以下のような課題が指摘されています。

- 医療機関を受診せずに、市販の鎮痛薬で自己治療を行う患者が少なからず存在する¹⁾²⁾。このような患者は、重症度に応じた医療介入が得られず、長期間にわたる不十分な自己治療を継続することで片頭痛の慢性化や薬剤の使用過多による頭痛(MOH)に進展するリスクの恐れがある。
- 近年、日常生活に支障度の高い片頭痛に対する予防療法導入の意義が国内外で認識され、片頭痛の治療は大きく変化しつつある。片頭痛の早期診断と適正な治療を受けるためには、患者の初期治療に携わる可能性の高い頭痛非専門医が最新の知識を習得するとともに、専門医との連携強化が望まれる。
- 小児・思春期の片頭痛患者は成人とは異なる臨床像を呈しうることから早期診断が難しく、さらに患者以外にも、家族、学校関係者、職場産業医の片頭痛に対する理解や知識の不足は、医療機関への紹介による早期治療介入の機会を失う恐れが示唆される。



そこで、本公募では下記の「プロジェクトの対象者」における、片頭痛領域での医療の質の向上を目的とした、以下のようなプロジェクトを支援の対象といたします。

- 医療機関での治療を要する未受診患者の行動変容
- 専門医と非専門医の医療連携の促進
- 早期診断と適切な治療の推進(専門的知識の普及)
- 小児・思春期の患者に対する疾患理解の促進
- 学校医、産業医、保健師、薬剤師の包括的な知識向上や疾患啓発

注意事項: 臨床試験(介入/非介入)、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。またCOIの観点より、診療ガイドラインやコンセンサス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

プロジェクトの対象者:

- 片頭痛診療に関わる医療従事者もしくは関係者(養護教諭、教員、保健師、薬剤師など)

注意事項: 対象者が「患者のみ」の教育プログラムは、本公募の対象外です。

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 1,200,000 円
- 助成の可否ならびに金額は、日本頭痛学会が選定する専門家を中心とした審査会にて決定されます。

締切日等スケジュール:

- 公募開始日:2024年5月8日
- 一次申請(Letter of Intent) 締切日:2024年7月9日 (アメリカ東部時間)
- 一次審査:2024年7月
- 一次審査 結果通知:2024年7月

(一次審査を通過した場合)

- 最終申請(Full Proposal) 締切日:2024年8月 (アメリカ東部時間)
- 最終審査:2024年9月
- 最終審査 結果通知:2024年10月

- 助成金はファイザー株式会社との教育助成契約締結後に支払われます。

助成金を使用したプロジェクトの実行: 2024年12月1日~2025年11月30日(最長1年間)

申請方法:

- 申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
<http://www.cybergrants.com/pfizer/loi>
- 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
- 申請に際しては、こちらの[申請の手引き](#)をご参照ください。
 - “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には **必ず Yes** を選択してください。
 - Competitive Grant Program Name の選択では、“2024 IM Japan JHS Efforts to Improve Quality of Migraine Medical Care IME” を選択してください。



- Primary Area of Interest の選択では” Pain – Migraine – LOI” を選択してください。

注意事項: 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー MEG-J事務局
meg.japan@pfizer.com

お問い合わせ際、件名に、今回の公募タイトル「片頭痛領域における医療の質を向上するための取り組み」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、Pfizer International LLC と書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。
- 本公募はファイザーによって助成支援されます。採択となりましたら、助成金は米国より送金されます。
- 助成金は申請施設の口座にのみ送金可能です。

審査:

- 本公募ファイザーによって助成支援されます。採択となりましたら、助成金は米国より送金されます。
- 審査委員会は、日本頭痛学会が選定する頭痛の専門家を中心として構成されます。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます(中間報告)。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容(プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど)に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。
- 採択施設(団体)はプロジェクトの概要(and/or)成果を日本頭痛学会学術集会で発表して頂きます。

文献:

- 1) Takeshima T, et al. Prevalence, burden, and clinical management of migraine in China, Japan, and South Korea: a comprehensive review of the literature. J Headache Pain. 2019;20:111.
- 2) Hirata K, et al. Comprehensive population-based survey of migraine in Japan: results of the observational Survey of the Epidemiology, tReatment, and Care Of MigrainE (OVERCOME [Japan]) study. Curr Med Res Opin. 2021;37:1945-55.



日本頭痛学会 及び ファイザー Global Medical Grants について

一般社団法人日本頭痛学会は、革新的な教育および変革戦略を実行するため、ファイザーと提携契約を締結しました。

日本頭痛学会は、頭痛に興味をもつ医師、歯科医師、医療従事者の集まりで、わが国の頭痛医療を向上させ、国民の健康と福祉の増進に貢献することを目的としています。頭痛ならびに関連する医療の情報や知識を普及させ、頭痛性疾患の科学的研究を推し進め、多くの国民が悩まれている頭痛の予防法や治療法を発展させるために活動をしています。

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者のアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内でなされる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“プラクティスギャップ”・“クオリティギャップ”を埋めることができるようなプロジェクトの立案をお願い致します。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。



Appendix

一次申請では申請システムに英語で入力をしてください。入力の際には以下の点をご参照ください。

Goals and Objectives

- プロジェクトの背景・目的を記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

Assessment of Need for the Project

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)

Target Audience

- プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

Project Design and Methods

- プロジェクトのデザイン、具体的な実施方法を記載してください。

Innovation

- 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

Evaluation and Outcomes

ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。

- 判定に使用するデータソース
- データの収集・分析方法
- 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例: ベースラインから 10%上昇する)

Anticipated Project Timeline

- プロジェクトのスケジュールを記載してください。
- マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。

Additional Information

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く



Organizational Details

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算について

- 一次申請では予算総額(日本円)のみ入力してください。
- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。
ただし、弊社からの助成金は以下費目には使用できません。
 - 医薬品の購入
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)テキスト・教科書の購入
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の 28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト 1 件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込みで記載してください。

